

## 国指定枇榔島鳥獣保護区及び同枇榔島特別保護地区指定公聴会調書

1. 名 称 国指定枇榔島鳥獣保護区及び同枇榔島特別保護地区
2. 開催日時 平成22年8月24日(火) 13時40分から14時20分まで
3. 開催場所 宮崎県東臼杵郡門川町本町1丁目1番地 門川町役場別館第2会議室
4. 議長名 九州地方環境事務所 統括自然保護企画官 後藤 乙夫

## 5. 公述人出欠

指定数	本人出席	代理出席	欠席
7人	1人	6人	0人

## 6. 公述人賛否等

賛成	条件付賛成	反対
7人	0人	0人

## 7. 傍聴者

14人

## 8. 議長の判断

本案について、公述人全員から賛成を得られたので、指定することが  
 適当と考える。

9 . 公聴会公述人名簿

職 名 (代理人職名)	氏 名 (代理人氏名)	住 所	郵便番号
宮崎県知事 (環境森林部自然保護課 主幹)	東国原 英夫 (長友 成仁)	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号	880-8501
門川町長 (副町長)	安田 修 (金丸 隆康)	宮崎県東臼杵郡門川町本町1丁目1番地	889-0696
門川町観光協会長 (事務局：産業振興課 課長補佐)	大森 有二 (岩下 一男)	宮崎県東臼杵郡門川町本町1丁目1番地	889-0696
門川漁業協同組合 代表理事組合長 (参事)	黒木 巧 (黒木 清幸)	宮崎県東臼杵郡門川町門川尾末8807 - 60	889-0611
庵川漁業協同組合 代表理事組合長 (参事)	岩田 一廣 (黒木 憲二)	宮崎県東臼杵郡門川町庵川西6丁目 188番地	889-0605
宮崎県猟友会長 (門川支部長)	米良 安昭 (米良 龍雄)	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11-1	880-0805
日本野鳥の会 宮崎県支部長	前田 幹雄	宮崎県宮崎市清武町加納乙62-90	889-1605
計 7名			

10 . 公述人の意見概要

職 名	賛成	条件付 賛成	反対	意 見 の 概 要
宮崎県知事 東国原 英夫				なし
門川町長 安田 修				なし
門川町観光協会長 大森 有二				なし
門川漁業協同組合 代表理事組合長 黒木 巧				なし
庵川漁業協同組合 代表理事組合長 岩田 一廣				・保護区指定に伴い周辺海域における漁業に制限がないよう留意されたい。
宮崎県猟友会 会長 米良 安昭				なし
日本野鳥の会 宮崎支部長 前田 幹雄				・世界的に海洋汚染や地球温暖化、乱獲などによって傷つき生物多様性の危機が問題となっている。こうした中で枇榔島周辺には毎年、約3000羽のカムリウミスズメ（絶滅危惧 類で国の天然記念物）が集まる。このため国内はもちろん世界最大の繁殖地となっている。このほか、オオミズナギドリやアナドリ、カラスバト、ウチヤマセンニュウ、アマツバメ、クロサギなども繁殖、夏鳥のオオルリ、アカショウビン、サンコウチョウなどが渡りの中継地として利用している。小枇榔でもオオミズナギドリやカラスバトなどが繁殖。両島とも野鳥の生息地、中継地として重

			<p>要であり、まさに「九州の小ガラパゴス」という無人島で大事に守っていかなくてはならない。日本野鳥の会でも重要な野鳥生息地（1BA）として取り上げており、保護の手だてを求めていただけに同島と周辺に法の網をかぶせることに賛成する。</p> <p>・同島には現在、ヘビやネズミもないため野鳥の楽園となっている。しかし、磯釣りの好ポイントで釣客も上陸。撒き餌のアミを放置したり、弁当のゴミを持ち帰らないなどでカラスが飛来、カンムリウミスズメの親鳥や卵が被害にあうケースも発生している。最も危険な外敵であるヘビやネズミの侵入を防ぐ手だても欠かせない。福岡県の例（島にネズミが侵入して瞬く間に繁殖地が絶滅）もあるようにネズミやヘビについて万全の対策をとってほしい。カンムリウミスズメは10～20<sup>+</sup>離れた海域で分散して過ごし、夕方になると枇榔島周辺海域に集まり、20時過ぎから同島に飛来してくる。繁殖と重なる期間に行われる漁船の夜間操業における混獲を防ぐためにも同島周辺での操業については県や地元の門川町とじっくり協議、操業の時期や場所、漁の方法などのきめ細かな検討を加えてもらいたい。</p>
--	--	--	---

平成22年8月24日

議長所属 九州地方環境事務所  
議長役職 総括自然保護企画官  
議長署名 環境技官 後藤乙夫